

1 平成 31 年度 学校教育目標・指導の重点

学 校 教 育 目 標

- 1 生命を尊び、互いの価値を認め、励まし合える人間関係を築く。
- 2 広い視野に立ち、深く考えて行動できる力を養う。
- 3 志を高く掲げ、たくましく生きる力を育てる。

1 育成を目指す資質・能力

－社会人になるための基礎・基本を身につける－

- (1) 習得力：基礎的な知識や社会ルールを身につける力
- (2) コミュニケーション能力：自他を認め円滑で適切な人間関係を構築する力
- (3) 自己制御力：自己肯定感を高め、学校生活を前向きに継続する力

2 重 点 目 標

－人間性豊かな生徒の育成を期して－

- (1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自ら努力する姿勢をもった生徒を育成する。
- (2) 学習への意欲を高め、進路目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。
- (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで挨拶と笑顔のある生徒を育成する。

3 教育課程編成の方針

- (1) 学習指導要領の趣旨に則り、人間性豊かな生徒の育成を目指し、生徒の希望・地域の実態に即した教育課程を編成する。
- (2) 各教科・科目等については、学習目標を設定し、基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、社会の要請に応えた高校生としての学力が培われるよう編成する。
- (3) 特別活動については、自主的・実践的な態度を育成するとともに、心身の調和のとれた発達を図るよう編成する。

4 指導上の重点事項

学習指導	<ul style="list-style-type: none">・意欲的に学び続ける事ができる生徒の育成(1)本校で学ぶ生徒に育成を目指す資質・能力を明らかにするとともに、教科間のつながりや学習指導の改善を踏まえた教育課程の編成を図る。(2)生徒の授業アンケートをもとに、研修等の授業改善の取組を行い、授業満足度を向上させるとともに、生徒の学ぶ意欲の向上を図る。(3)不用意な欠課や、授業中の携帯電話使用といった授業を受けるための基本的マナーについての組織的で継続的な指導を行いつつ、基礎的な学力の向上を図る。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・共通理解と生徒理解の上立った自覚、責任、自立ある生徒の育成(1)本校の生徒に身に付けさせたい資質・能力や行事の目的を明確化し、生徒自身が作る生徒会行事へと意識を変える。(2)中抜け、無断欠席、あいさつ、スマホの利用に関するルールやマナー等の規範意識に関する指導を、教職員の共通理解のもとで継続して適切に行う。(3)定例だけでなく、予防的視点をもった日常的な個人面談を行い、生徒が安心して学校生活を送れる体制を確保する。(4)部員数の確保をしつつ、定体連後にも継続して部活動に参加させる。
進路指導	<ul style="list-style-type: none">・進路意識の高揚と社会人としてのマナー育成による生徒の進路実現(1)総合的な学習の時間において外部支援団体の講演等を活用し、マナー指導や就労意欲を向上させる取組を行い、キャリア教育の充実を図る。(2)インターンシップの有用性を啓蒙し、参加者の増加を図り、就労意欲の向上を図る。(3)家庭との密接な連携の下、広く情報提供を行い、早期に進路目標を決定させるとともに、奨学金制度の適切な説明・活用を図る。
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none">・他者を尊重し円滑なコミュニケーションをとることができる生徒の育成(1)生徒個々の家庭環境や困り感を詳細に把握し、支援が必要な生徒について、個別の指導計画の作成、教職員間の情報共有など、組織的で持続的な支援を行う。(2)危機管理マニュアルに則り、部外者等の学校への出入り制限を効果的に行う。(3)適性検査等を実施し、生徒個々の性格や適性を分析し、指導に活用することで適正なコミュニケーションを促進する。